

全国納税貯蓄組合連合会優秀賞

僕達の税意識について

寄居町立城南中学校 三年 上田 圭一郎

「この道よく整備されて、通りやすくなったよね。」

僕が住んでいる地区はとても田舎で、車が走る道や人が歩く道にも、いくつかの凸凹があり、ほとんど整備されていませんでした。しかし先日、この田舎の道も整備されていることに気が付きました。凸凹だった道もコンクリートでしっかり埋め立てられ、お年寄りや小さな子供も安全に通行できるようになりました。このような事ができるのは全て税金があるおかげだと僕は思います。

現在、僕達が当たり前のように利用している様々な公共施設や教育や社会保障のサービスは大体税金で賄われています。道路、公園、消防等の有形なものや教育や医療、年金等の無形のもの、身近なことではゴミ処理等。僕達一人一人では決して実現することが出来ない事も税金の力を利用すれば、それらを可能にすることができると僕は思います。税金とは人間がより良い生活を送れるように作り上げた「お互いを支えあう」という優れた仕組みだと僕は思いました。僕達が生きてゆくうえで税金は必要不可欠なものだと思います。

しかし素晴らしい力を持つ税金は使い方によっては汚れてしまい無駄になってしまいます。必要ない建造物や無駄な施設等が莫大な税金によって建設されたり、庶民感覚から掛け離れた巨額の脱税者、そして税金滞納者の増加等に起因すると思います。これらは税を納める側、使う側、双方の誤った税意識から生じるものだと思います。このようなごく一部の人の為に、税に対する間違った意識が拡大し、納税の意欲を低下させ、税本来の利点までもうやむやになってしまうのではないかと僕は思います。税は誰に対しても平等であり、特定の人や組織に優位であってはいけないと思います。税金の「不正」や「無駄」を根絶することで、納税者の信頼を回復することは、とても重要であり大切なことだと思います。

これから僕は、本気で税金の役割や正しい使い道を調べていきたいと思います。なぜなら、これから現代の日本を引っ張っていくのは僕達の仕事だと思うからです。現在もんだいになっている少子高齢化社会の中で安心した子育てができるような環境、そして豊かな老後や楽しく活気にあふれた人生を送れる日本を作るか作らないかは僕達次第です。僕はできる限り努力し税金を理解できるように勉強に励みます。しかし、僕一人がいくら努力しても日本は変わらないでしょう。なので僕は、もっと多くの人に税の大切さを知って頂く為にも、みんなに呼びかけていきたいと思います。そうすることによって国を支える一員として自覚を身に付け、積極的に社会や政治に関与していきたいと思います。そうすることが今の自分ができる最低限のことであり、もっとも賢明なことであるからです。